



実践指定校へ推薦 総会で23校を決定

県推進協議会

学校での新聞活用（NIE）を進めるため、県内の教育関係者や新聞・通信各社でつくる県NIE推進協議会の総会が二十三日、中日新聞社であり、本年度に県内から日本新聞協会にNIE実践指定校として推薦する小中学校、高校計二十三校（継続十一校、新規十二校）を決めた。

指定校には協議会の加盟

各社が発行する新聞を一定期間、無料で提供。新聞を活用した授業に必要な費用への補助金も支給する。東京都で十一月に開催予定の

NIE全国大会に教員を派遣する本年度事業計画なども決定した。

会長の土屋武志・愛知教育大教授はあいさつで「これからの新聞はどっという形になるか、それをどう活用するか、コロナ後の社会の中で問い直されることになる」と話した。



県NIE推進協議会総会であいさつする土屋会長（中日新聞社で）

◇推薦された学校は以下の通り
【継続校】名古屋市有松小、同市楠小、同市稲生小、稲沢市大塚小、一宮市向山小、豊川市牛久保小、安城市明祥中、星城中、緑丘高、豊田西高、中京大中高
【新規校】名古屋市名東小、同市橘小、扶桑町扶桑東小、蒲都市西浦小、刈谷市日高小、豊田市小原中部小、名古屋市日比津中、一宮市今伊勢中、天白高、岩倉総合高、愛工大名電高、聖力ヒタニオ女子高